

国見町子育て世代包括支援センター ももさぽインフォメーション

ニコニコ相談会

- 実施日** 令和4年8月17日(金)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 令和4年8月25日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和4年4月生まれ)
9か月児(令和3年10月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

3歳6か月児健診

- 実施日** 令和4年8月18日(金)
- 受付時間** 午後1時30分～午後1時45分
- 会場** 森江野町民センター
- 対象者** 平成30年11月1日～
平成31年1月31日生まれ
- 持ち物** 母子健康手帳
- 内容** 医師の診察、身体測定、視力・聴力検査など

『ももさぽ』相談の一む

役場の1階にあります。妊娠中のことや育児のことなど助産師、保健師、栄養士と気軽に話せる部屋です。
(ほけん課保健係にお声掛けください)



胃カメラ検診のお知らせ

※総合検診で胃バリウム検査を受けた方は、胃カメラ検診を受けられません。ご注意ください。

対象者 (令和5年3月31日時点)	①50歳以上の方(昭和48年3月31日以前生まれの方)で偶数年齢の方 ②50歳以上の方(昭和48年3月31日以前生まれの方)で奇数年齢の方で、昨年度受診していない方
定員	100人(先着順)
受診費用自己負担金	国保後期高齢 受診費用14,120円のうち自己負担金:3,000円 社会保険 受診費用14,120円のうち自己負担金:4,000円
申込方法	本人又は家族の方が加入保険者証、印鑑を持参のうえ、ほけん課(青1番)窓口にて申込み。 ※電話での申し込みはできません。
申込期間	7月1日(金)～8日(金)(土日を除く) 受付時間:午前8時30分～午後5時15分 ※7月7日(木)は19時まで受付窓口を延長します。
その他	◎役場で申し込み終了後に個人で指定医療機関へ予約していただきます。 ◎検診期間は8月1日～12月3日の予定です。 ◎受診費用は医療機関でお支払いください。 ※昨年度と対象要件に変更がありますので、ご注意ください。

子宮頸がん・乳がん検診のお知らせ ～受けてください、命を守る大切な検診～

- ・受診録がお手元に届きましたら、指定医療機関に直接電話で予約をして下さい。
- ・受診録は過去5年間(平成29年度以降)に子宮頸がん・乳がん検診を受診された方に、7月上旬迄に配布します。今年度の受診を希望される方で、受診録が届かない方は、ほけん課保健係までご連絡ください

【対象者・自己負担金】※年齢算出日:令和5年3月31日

	子宮頸がん検診	乳がん検診
対象者	20歳以上の偶数年齢の女性	40歳以上の偶数年齢の女性
自己負担金	1,000円	800円
	【無料になる方】 国見町国民健康保険加入の方、後期高齢者医療制度加入の方、生活保護世帯の方	

いのちを救う 愛の献血にご協力を!

6月24日(金)は国見町の献血の日です。

場所	受付時間
国見町役場 駐車場	午前9時から午前11時30分
(株)荏原風力機械	正午から午後1時
公立藤田総合病院	午後2時30分から午後5時



院長先生の診察室から

【第7回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

全く規制のないゴールデンウィークが終わり、静かな日常が戻ってきました。予想通り、新型コロナウイルス感染症は減少せず、増加傾向にあるようです。一方、重症化は少なく、オミクロン株の死亡率は0.13%とかなり低くなっています。しかし、季節性インフルエンザの死亡率は0.01～0.05%ですので、油断は禁物です。感染拡大を抑えるためには、個人の感染対策行動が重要となります。喉の痛みや発熱がある方は、仕事や学校は休んで、すぐ検査を受けてください。コロナ陽性の場合、医療機関・保健所の指示に従いましょう。町からの情報に注意して、ワクチン接種対象者は、できるだけワクチンを接種してください。よろしくお祈りします。

令和4年度の健康診断が始まります。新型コロナウイルス感染症の影響で、受診者数が全国的に減少しました。今年は積極的に受診するようにお願いします。また、医療機関受診を控えることにより、病気が悪化してしまうことも心配されますので、注意してください。

これからは、気温が上昇する日が増えてきますので、しっかり水分補給をしてください。真夏よりも、暑さに体が慣れていない時期に熱中症への注意が必要です。外出するときは、経口補水液等を持参するようにしましょう。

